

# 全占領軍撤退 イラクを解放せよ

## 今こそ自衛隊撤退！ 米軍の虐殺を許すな！

解放声明が出されてすでに二日が過ぎた。依然として3人は解放されていない。解放の最大の障害となっているのが日本政府である。小泉政権は自衛隊撤退せずとしか言わず、見殺しにしようとしてきた。解放声明後もその方針は変えていない。川口外相はビデオメッセ - ジの中で、家族の強い反対を押し切って自衛隊は復興支援のために派遣していると自衛隊派遣の正当性をわざわざ主張した。マスメディアも「日本が法律に基づく手続きを経てきめたこと」だから「脅迫では撤退できぬ」(朝日、4/10)と3人を見殺しにしようとする政府方針を支持してきた。戦闘地域には派遣せずとのイラク特措法そのものにも反していることをわざと無視して自衛隊居座りを正当化しているのである。このような占領継続の意思表示は、占領軍に参加している各国が撤退の方向へ向かいつつあるとき日本は特異な、イラク国民への抑圧勢力だということになる。米英とともに日本がイラク国民レジスタンス勢力の強い批判の対象となるのは当然である。

しかし日本の多くの市民は3人の命

を守れ、自衛隊撤退せよと立ち上がった。署名はわずかの間に15万人を超えた。首相官邸には連日国民の命を見捨てる首相への抗議の声が押し寄せた。この日本市民の闘いが「日本人たちがイラク国民を応援していることや、家族の悲しみを考慮」するととの解放声明をもたらしたのである。

3人はファルージャ周辺に所在していると想定されているが、そのファルージャで米軍による大虐殺が進行している。米軍は町を包囲し、無差別攻撃を行い現在までに600人以上が殺害されている。このような蛮行が続いているときに日本人3人が安全に解放されるわけがない。イラク人の命を守り、3人の解放のためにもファルージャから米軍を直ちに撤退させねばならない。

占領軍によるイラク支配はレジスタンスにより今崩壊しつつある。グローバル資本による中東支配を許さず、イラク人の自治にイラクをゆだねる事が根本的解決策である。自衛隊撤退を手始めに全占領軍を手k伝いさせよう。世界の戦争屋ブッシュ、ブレア、小泉を追放しよう。



<http://www.mdsweb.jp/>

### 民主主義的社会主义運動

〒536-0016  
大阪市城東区蒲生1-6-21 LAGセンター内  
TEL 06-6934-8512 FAX 06-6934-8112

〒106-0814  
東京都港区小川町9-7 第3服部ビルB302  
TEL 03-3267-8219 FAX 03-3267-8519